

全農多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ
KYOU-RYU. EXPRESS

令和6年7月12日

J A 福井県

にじのきらめき速報 No.6

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

6月下旬から7月上旬にかけては、曇りや雨の日が続いていましたが、晴れると気温が上がり30℃を超える夏日となります。梅雨末期の大雨にご注意いただき、継続していもち病や紋枯病の発病に注意してください。7月22日頃には、梅雨明けの予想です。福井県から2年ぶりにカメムシ注意報が発令されました。畦畔やそば予定地の草刈りを出穂までには、終えるようお願いします。

【生育調査の状況】

- 茎数が先週と比べて大幅に減少してきました。

1. J A 生育調査状況 (7月10日現)

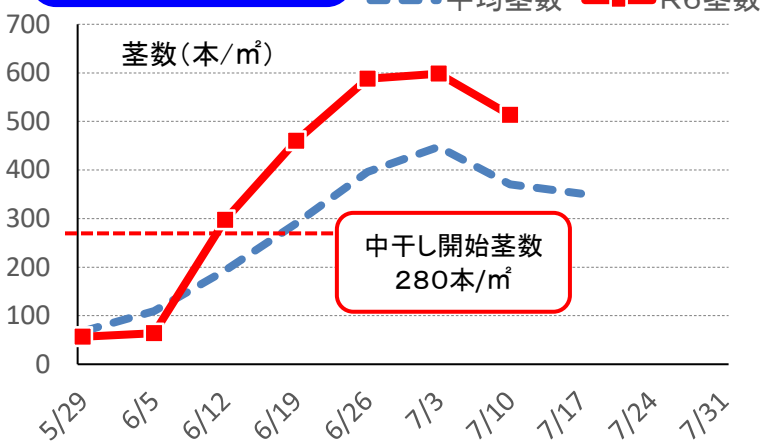
栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	5月20日	84.6	513.3	-	4.3

【平年比】

- 草丈 : 長い ● 茎数 : 多い ● 葉色 : 並み

2. 茎数の推移と今後の管理

移植 5月20日～



3. にじのきらめき栽培管理のポイント

間断通水を継続し、出穂後フェーン現象等の異常高温時には湛水管理を行います

多収獲を目指し
積極的に追肥!!

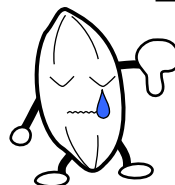
① 幼穂形成期

■ にじのきらめき : 7月15日～

葉色の低下(肥料不足)は
未熟粒や乳白粒の増加で、
低単収・等級落ちに!!

② 葉色の管理

- 水管理で一発肥料の効果高める。
- 葉色が4以下の場合は穂肥を散布。



【未熟粒】



【乳白粒】



③ 穂肥の施用

- 肥料 : アグリフラッシュ444
- 施肥量 : 7～14kg/10a (N:1～2kg)

④ 病虫害対策

いもち病・紋枯病 : が発生しやすい気候です。病斑を確認したら治癒剤で速やかに防除を行いましょ